



初めての着衣水泳



町内の小学3年生を対象としたジュニアスイミングスクール(町教育委員会主催)が当別小学校水泳プールにて開催され31名が参加しました。

泳ぎの基礎・基本を学ぶほか、水の事故から自らを守る知識と技術を身につけるため、着衣のままプールに入り通常の水泳と異なる感覚に、子ども達も真剣な表情で取り組んでいました。

(8月1日)

コンバインもフル稼働



道内でも有数の作付面積を誇る秋まき小麦の収穫が、7月下旬から町内各所で行われました。生産者は天候を気にしながらもコンバインをフル稼働し、収穫作業を進めていました。

本町では、ゆめちから、きたほなみという品種が主に作付されており、収穫された小麦は市場に流通するほか、一部は小麦粉に加工され、ラーメンや冷麦など、オリジナル商品として試験販売がふれあい倉庫、北石狩農業協同組合西当別支所金融店舗にて行われています。

(8月2日)

農業技術を母国へ



JICA(独立行政法人国際協力機構)「農民参加型用水管理システム」研修が当別町で行われ、カンボジアから8名の研修生が来町し、当別土地改良区、篠津中央土地改良区が協力し、1ヶ月間研修を行いました。

研修生は、日本における農業用水管理と組織について関係者から講義を受けました。

また、農作業体験や圃場や設備の見学を行い、日本の高い技術力を学び、帰国後、農業組織の育成や指導に研修の成果が役立てられます。

(8月5日)

広告

広告

広告

広告

夏休みキッズアカデミー



住んでみたい当別推進協議会と当別町が協働で進める「キッズアカデミー」が西当別コミュニティセンターで開催、小学生16名が参加しました。

今回は、キッズアカデミーの体験講座第1回目で、ふれ・スポ・とうべつの協力で、ボールなどを使って体のバランス感覚やリズム感をつけるコーディネーショントレーニングを学び、当別出身のマジシャンのアルバトロス・デンカさんから簡単なマジックを教わり、子ども達は体と頭の体操を楽しみました。

(8月7日)

夏の風物詩



当別町商工会青年部(伊藤雅輝部長)主催による、親子盆踊りが阿蘇公園にて8月14日～16日の3日間、開催され600人以上の親子が参加し、大盛況でした。

青年部員がたたく心地よい太鼓の音に併せて、楽しそうに踊る子ども達、そして、ビデオカメラで撮影する保護者の姿が見られなど、参加者は夏の楽しい一夜を過ごしました。

また、終了後は、青年部から参加賞として、花火がプレゼントされ、子ども達も嬉しそうに受け取っていました。

(8月15日)



広告

広告

広告

広告